

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【社 会】

教科用図書北諸県採択地区協議会

# 1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題やアニメのキャラクターの吹き出しなどを具体的に示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を見開き 2 ページで明示しながら単元を進める展開になっており、見通しをもって学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各学年の最初に「学習の進め方」のページを設け、問題解決的な学習を具体的に例示したり、単元の随所に「学び方コーナー」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>
17 教育出版	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題や子どものキャラクターの吹き出しを示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という段階を踏みながら単元を進め、「次につなげよう」の欄で新たな問いを提示し、追究意欲を持続させるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各学年の最初に「社会科学習の進め方」のページを設け、問題解決的な学習を具体的に例示したり、単元の随所に「学びのてびき」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題を示したり、「やってみよう」の欄で問題の解決へ向けた活動を具体的に例示したりするなどして、学習問題を解決しながら単元を進める展開になっており、見通しをもって学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 目次の次に「この教科書の使い方」のページを設け、問題解決的な学習を具体的に例示したり、単元の随所に「学び方・調べ方コーナー」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>

## 2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 児童に身近なアニメのキャラクターからの問いかけを用いて、本時学習の際の手がかりとなる視点を提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習上重要な用語を「ことば」として提示したり、学習場面に応じた学び方が分かる「まなび方コーナー」を設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において自分にできることを考え、選択・判断する活動を設けたりすることで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、児童が興味・関心をもち、さらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 学習の視点や方法を巻頭の特設コーナーで提示したり、キャラクターの吹き出しを設けたりすることで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習上重要な用語を「キーワード」として提示したり、学習の調べ方やまとめ方などについて解説した「学びのてびき」などを設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 単元の末尾の「まとめる」コーナーでは、児童が多角的な視点から対話的に学習できるようキャラクターの吹き出しが提示され、児童が主体的に選択・判断し、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、学んだ内容をさらに追究する活動につなげられるよう発展的な資料を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>

<p>116 日本文教 出版</p>	<p>(1) 「空間」「時間」「関係」の三つの視点で整理された「見方・考え方」のコーナーを提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習上重要な用語を「キーワード」として提示したり、観察や調査、表現活動などが示された「学び方・調べ方コーナー」を設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 異なる立場から話し合い、どう行動すればよいかを考えたり、自分の考えをまとめて表現する方法を示したりするなど、社会との関わり方を選択・判断しながら、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の末尾に「わたしたちの学びを生かそう」のコーナーを設け、児童の興味・関心を発展させた活動例を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>
------------------------	---

### 3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。「まとめる」段階に学習問題を再提示したり、単元で出てくるキーワードが示された「ことば」欄を配置したりし、学習内容を振り返りやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Dマークコンテンツ」が活用でき、学習内容に応じたクイズや動画、公的機関のホームページへのリンクが紹介され、さらに学習を深めることができる工夫がなされている。</p> <p>(3) 各種資料等については、アニメのキャラクターを使用し、「見方・考え方」が一目で分かる工夫がなされている。また、文字の大きさ、本文と資料を区別できる構成など、児童が見やすく読みやすいような配慮がなされており、分冊になっている。</p>
17 教育出版	<p>(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。各学年の巻頭ページに「社会科の見方や考え方」や「社会科の学習の進め方」を例示したコーナーを配置し、見通しをもたせながら学習が進められる工夫がなされている。</p> <p>(2) 「まなびリンク」を活用し、資料について詳しい学習に役立つ情報を収集することができ、さらに学習を深めることができる工夫がなされている。</p> <p>(3) 各種資料等については、「問い」から「次につなげよう」まで、問題解決的な学習の過程が分かりやすく示されている。また、手描き風のイラスト、本文の書体の太さの工夫など、児童が見やすく読みやすいような配慮がなされており、一冊になっている。</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。単元の導入後に「学習の計画」を提示したり「見方・考え方コーナー」を提示したりすることによって、問題意識を焦点化し、見通しをもって学習を進められる工夫がなされている。</p> <p>(2) 「デジタルマーク」が活用でき、デジタル資料を使って児童の興味・関心を引き出し、さらに学習を深めることができる工夫がなされている。</p> <p>(3) 各種資料等については、資料が大きめに配置され、児童の細かな気付きを引き出す工夫がなされている。また、登場する子どもの発言を枠で囲んだり、色調に配慮したりし、児童が見やすく読みやすいような配慮がなされており、一冊になっている。</p>

#### 4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 社会的事象への関心をもたせ、それを自分との関わりで主体的に考えさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 社会的事象へ関心をもたせ、児童がより理解できるようにするため、図表やグラフ等はカラーバリアフリーの観点から色調に違いがつけてあるとともに、模様や形、線種等でも判別できるような資料提示の工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、「いかす」段階で自分たちにできることを考えさせたり、発表させたりする内容の工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 社会的事象へ関心をもたせ、児童がより理解できるようにするため、カラーユニバーサルデザインに基づく見やすい配色になっており、記号は色だけでなく形からも区別できるような資料提示の工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、「まとめる」段階の活動が例示してあり、学んだ事実を根拠にして自分の考えを表現させる工夫が見られる。</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 社会的事象へ関心をもたせ、児童がより理解できるようにするため、グラフや地図は、カラーユニバーサルデザインに対応した色調や色の組み合わせだけでなく、ドット等で見やすくする資料提示の工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、学習問題の追究後、「さらに考えさせたい問題」を設定して、自分の考えをより深めさせる工夫が見られる。</p>

#### 4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点5) 身近な社会的事象を活用し、問題解決的な学習を充実させるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 社会的事象を身近に感じさせるために、インタビューをした方の写真や話を基にした資料を随所に用いて、多様な生き方に触れ、自分の生き方についてもより深く考えられるようにしている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を行うために、単元の「めあて」を設けて、小单元ごとに「学習問題」を設定し、各段階を示しながら、見通しをもって学習を展開する工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 社会的事象を身近に感じさせるために、具体的な地域の様子や取組が分かる資料を随所に用いながら、それを比較・考察させたり、関連付けて考えさせたりすることができるようにしている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を行うために、各単位時間の中心となる「この時間の問い」を設け、単元をとおして学習問題を段階的に追究していくことができるような工夫が見られる。</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 社会的事象を身近に感じさせるために、地域の実態に即して扱える資料があり、その中には、本県における畜産業に関する資料も多く用いられ、農家や県庁の方のインタビュー等を基に追究できるようにしている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を行うために、「わたしの問題」、「学習問題」、「さらに考えさせたい問題」が設けられており、追究活動の充実を図る工夫が見られる。</p>